

下中たまねぎが高齢者と子供の架け橋に



小田原市長も  
ご出席ください  
ました。



園児が育てた  
玉ねぎが...



橘地区家庭菜園研究会指導のもと、下中幼稚園の園児が栽培した「下中たまねぎ」をたちばなの里厨房が調理し、同じテーブルで食事会を開きました。園児のみなさんから“笑顔と元気”をもらい、入居者様も自然と顔がほころびました。

おいしいカレーに  
なりましたー！



みんなで食べると  
おいしいね♪



様々なメディアに取り上げて頂きました。

<編集後記>

今回で2回目を迎える「下中たまねぎ」による交流会。下中幼稚園や橘地区家庭菜園研究会を始め、各関係者の皆様のご協力により実現され、小田原市の加藤市長にもご出席頂きました。誠にありがとうございました。高齢者、子供、地域が一体となることの大切さを改めて考える日になりました。 武田

発行元：介護老人福祉施設たちばなの里  
発行日：平成28年8月25日  
住所：小田原市小船213-1  
TEL：0465(44)1100  
HP：www.sakimura-group.com

先日、流しそうめんから、また楽しい交流の食事会。ツバメ親子が飛び交う坂道を下中幼稚園児、元気よく奏所と踊りを楽しみ、園児が栽培した下中たまねぎたっぷりのカレーライスで園児同席で美味しく頂きました。子供達とあまり接する事がないので、武持たちがまた交流会のチャンスがある事を願っております。前回の戦後の続き。衣食に窮乏な時代、私の親は子供のために慣れない畑の仕事を菜を頂き生計を立てて頑張りつたようです。着るものは再生し、染めたり毛糸を編み返したものでした。学校は給食などありません。お弁当を持ってこない子は昼時教室に居ません。冬はオモ子を持参しストーブで焼いて、教室が良い匂いでいっぱいでした。続く